



9月定例会では、9月9日、10日、11日の3日間にわたり、19人の議員が延べ47項目の内容について一般質問を行いました。一般質問の内容の一部を紹介いたします。一般質問の内容はホームページでご覧いただけます。HPアドレス <http://gikai.gikai-tv.jp/dvl-ashiya/2.html>

あしや秋まつりだんじり巡行

利用者に優しい公共施設  
を目指して

薫る風

中島 かおり

インクルーシブやユニバーサルデザイン、社会についても進化する時代にあわせて、公共施設における机や椅子についても、使いやすいものにするなど、一定の配慮が求められるのではないかと。備品だけが人が出ている現状の改善を図るべきと考えるがどうか。

市 地区集会所の備品については、老朽化した机や椅子をはじめ、利用者の負担にならない、使いやすい備品となるよう今後も計画的に更新していく。教育委員会所管施設の備品についても、使用状況を確認し、古い備品を廃棄するなど、順次、買い替えを進める。

阪急バス開森橋停留所の  
存続について

あしや真政会

福井 利道

六月定例会で明らかになつた開森橋停留所の廃止方針について、住民や利用者

の理解は到底得られるものではなく、現行の場所が不可能ならば近隣の可能な場所に移しても存続させるべきであり、市有地を活用するなど、前向きに検討すべきである。

市 阪急バス開森橋停留所移設の検討も行ったが、安全上の問題や渋滞の発生が予測されるため断念した。市有地を活用したバス停の設置は、交差点までの距離、複雑な交差点の通行処理、通学路の安全確保等の問題もあるが、引き続き関係者と協議していく。



緑保育所

芦屋市のご当地ナンバー  
プレートの導入について

あしや真政会

岩岡りょうすけ

自動車ナンバープレートは国の管轄だが、原付のナンバープレートは自治体がデザインを決定できる。国

は来年度に自動車の凶柄入りナンバープレートを解禁する意向を示しているが、本市もご当地ナンバープレートの導入に取り組みべきではないか。

市 原動機付自転車へのご当地ナンバープレートの導入については、地域への愛着心の醸成や納税意識の向上などの観点から、費用対効果にも留意しながら、本市のイメージに沿ったデザインのナンバープレートの作成に向けて検討していく。

山手中・精道中での学校  
給食の早期実施を求める

あしや真政会

松木 義昭

山手中・精道中での学校給食は校舎建て替え後となるため、保護者間で早期実施を求める声が高まっている。行政サービスの公平性の観点から、給食棟建設の先行、デリバリー方式や小学校の給食設備を利用する親子方式の導入など、前倒しで実施できないか。

市 中学校間での学校給食の有無による教育環境の

格差が指摘されているが、今後、山手中・精道中の建て替えと併せて、給食実施の環境を順次整備し、潮見中学校と同様の対応を行っていくことが三中学校の公平性を保つ上で重要であると考えている。

公共建築物における木材  
利用について

あしや真政会

福井美奈子

公共施設への木材利用を提案してきた結果、一昨年は木材利用促進方針を策定し、新設された潮見中ラウンジルーム腰壁の木質化が実現された。教育施設の木質化による心身への好影響が数々報告されているが、今後の公共施設への木材利用に対する考えを問う。

市 公共建築物における木材利用は、設計段階から効果とコストを総合的に判断し利用促進を図っている。学校園などの施設でも、床や壁など適所に使用することで、温かみのある教育環境づくりができると認識しており、今後も木材利用の検討を積極的に行っていく。

### 集会所トークから見えてくる重要な課題について

無所属

いとうまい

集会所トークで多くの声が寄せられたごみステーションのクラス問題への対応として、クラス除けネットの購入費補助やモデル地区の設定で抜本的な解決を求める。防犯カメラ設置でのデータの取り扱いなど、運用の明確化と認知症等の見守り機能拡充を要望する。

**市** カラス除けネット購入補助は考えていないが、モデル地区の設定は方法論の一つとして考えている。防犯カメラデータの警察への情報提供は、公益性があり、提供を受けなければ目的達成が困難な場合に限定したい。見守り機能の拡充は、効果を注視したい。

### 芦屋市の強み、弱みに関する分析について

維新の党

大原 裕貴

本市の現状について、客観的データによる裏付けがなければ的確なまちづくり、

経営戦略を進めていくことができない。ビッグデータ等の客観的データを用いて分析をしているのか。

また、これらのデータを市民に対し、公開していく予定はないのか。

**市** ビックデータ等の客観的データの活用については、客観的な分析が必要な計画策定などで、国や県等の統計数値などを活用している。データの公開については、二次利用ができる、いわゆるオープンデータとして、順次公開できるように取り組んでいく。

### 高座の滝の分煙対策を仲ノ池に湧水の活用を

薫る風

山田みち子

高座の滝付近での受動喫煙が問題になっている。条例では規制できないが、分煙対策が必要ではないか。

生物多様性政策を進めるための「芦屋市生物多様性戦略」をいつ頃策定するのか。また、仲ノ池の自然度を復活するために湧水の利活用を提案するがどうか。  
**市** 高座の滝付近やその

周辺の通路も狭いことから分煙対策は困難であると考えられる。生物多様性戦略の策定については、市内の主要地域の生きものの種類や数に関する調査結果を検証し、その必要性を判断する。今後、湧水の利活用を含め、適切な方法を検証していく。



緑保育所

### 不特定多数が利用する施設等の防火対策は万全か

あしや真政会

中島 健一

集客施設等では、初期の対応を誤ると甚大な被害が生じる。定期的な訓練はもちろんだが、普段からの消防の指導が欠かせない。法定の定期点検報告提出を確実に履行させ、火災警報の

誤報等も検証しつつ適切な支援と指導が必要と考えるが対応できているのか。  
**市** 防火対象物の定期点検報告が未提出の施設については、年間の立ち入り調査を通じて指導している。今回誤報があったような対象物は年一回の消防設備点検を指導している。避難訓練等では、必要な場合は立ち会い、防火管理者等と一緒に訓練を指導している。

### 命を守る防災、減災対策のさらなる拡充を急げ

公明党

帰山 和也

津波浸水区域や土砂警戒区域の住民の命を守るための避難計画策定は喫緊の課題で、災害情報の迅速・正確な伝達が不可欠である。間こえにくい防災無線に加え、サイレンでの発報や戸別受信機の拡充を求める。

また、あしや防災ネットの普及について問う。  
**市** サイレンの発報については、地域住民の意見を伺いながら検討していく。高齢者など、情報収集が難しい方には、戸別受信機の

設置等も含めて検討していく。あしや防災ネットの普及については、迅速かつ確実に伝達できるように取り組んでいく。



緑保育所

### 災害時協力井戸とWiFi環境の整備について

公明党

徳田 直彦

災害時に水道が機能しなくなった場合、補完的に市内各所にある井戸を使用できるように災害時協力井戸登録制度を導入してはどうか。

お隣の神戸市などに比べ、市内WiFi環境の整備が遅れている。積極的に取り組むべきだと考えるがどうか。  
**市** 災害時の協力井戸登録制度については、現在、

要綱案を精査しており、平成二十八年年度から運用を開始する予定である。WiFiの活用については、本市では通信環境の充足や、民間事業者の設備が多数あることから、現時点で整備する必要性は低いと考える。

### 地域力が生かせる減災の取り組み強化を

無所属

前田 辰一

台風十一号による長雨で、市内土砂災害警戒区域に避難準備情報、避難勧告が発令された。市の地域防災計画では、自主防災会へ伝達が必要である。今回未実施の理由は何か。土砂災害警戒区域世帯に対象区域であることの周知が必要ではないか。

**市** 自主防災会への情報伝達は事前の調整が不十分であったため、今回は連絡を見送ったが、今後は速やかに情報伝達できるよう協議していく。土砂災害警戒区域内の住民への注意喚起等については、防災情報マップの配布や土砂災害の説明会を実施している。



### 問題だらけの中学校建て替え計画について

無所属  
長谷 基弘

精道中の学校敷地面積は潮見中・山手中よりはるかに小規模なため、給食施設やランチルームを確保するにはグラウンドの縮小や屋上プール、体育館の高層化といった工夫が必要である。南側校舎・北側グラウンドなどの計画になると不公平極まりない。

市 敷地面積の差は教育委員会でも認識しており、設計に十分な検討が必要である。ランチルームは中学校での設置を前提に基本設計していく。グラウンドの面積不足は建て替え時に在校生の教育環境が損なわれないよう配慮が必要であると考えている。

### 公立幼稚園での三年保育実施を

日本共産党  
ひろせ久美子

市の財産であり、空き教室もある公立幼稚園を今後生かす上で、三歳児の受け

入れ先として活用を求める。市の幼稚園教育の信頼性は高く、公立幼稚園での生活は三歳児の育ちを豊かにする。保護者のニーズも高い三年保育の実施を求めるかどうか。

市 公立幼稚園における三年保育の実施については、教育委員会としては、現在のところ考えていない。本市の「子ども・子育て支援事業計画」の中で、多様なニーズに応えることのできる認定こども園を計画的に整備することで、三歳児の教育ニーズに対応していく。

### JR芦屋駅南地区と駅のバリアフリーについて

あしや真政会  
長野 良三

再開発事業の進捗状況はどうか。駅前広場や駐輪場の位置づけをどのように基本構想に入れているのか。

また、完成までのスケジュールを問う。駅へのエスカレーターやエレベーターの設置はJR西日本がユーザーサービスで取り組む施策だが、交渉はどのように進展しているのか。

市 JR芦屋駅南地区ま



緑保育所

### マンション等集合住宅における防災の強化を

日本共産党  
平野 貞雄

地域の自主防災会と連携し、マンション固有の課題に対応できる自主防災の育成支援強化を求める。防災倉庫の設置などに助成し、周辺地域への災害対応も期待できるなど、一定要件で

「防災認定マンション」に指定すれば、支援を拡充する誘導策を図ってはどうか。

市 自主防災の取り組みへの育成支援については、集合住宅内での出前講座や防災訓練の支援などの取り組みを進めていく。マンション内の防災倉庫設置助成などの誘導策は、市内各所に防災倉庫を設置してきており、個々の共同住宅等への助成は考えていない。

### 寛容なまちづくりについて

あしや真政会  
重村啓二郎

現在、数多く寄せられる苦情の対応処理については大きな課題がある。苦情に沿った対応、あるいは一方通行で処理するのではなく、その苦情を市と市民にとって大切な地域からの問題提起として受け止めて、議論できる仕組みづくりを構築するべきではないか。

市 苦情・要望処理方法については、申し出のあった方だけではなく、必要に応じて苦情の対象の確認や、自治会等の意見を聞いた上

で、適切に対応するよう努めている。今後も、地域住民が主体的に課題解決に向けて取り組める地域づくりをとともに目指していく。



緑保育所

### ごみパイプラインのあるまちづくりを

日本共産党  
森 しずか

毎日の生活に不可欠なパイプラインの廃止は市民サービスやまちの魅力の後退である。七月実施の穴あき補修工事後も大雨の影響で使用停止になった。計画的補修で存続に取り組みよう求めるがどうか。管理運営費の市負担軽減のため県負担を求めるべきではないか。

市 パイプライン輸送管の穴あきの主な原因は、長

年の使用による摩耗であり、従来から、計画的な補修を行っている。

また、パイプラインの管理は市の責任で行うこととなっており、県に費用負担を求めることはできないと考えている。

### 二十四時間対応の健康と医療の電話相談について

公明党  
田原 俊彦

医療機関での受診が難しい休日・深夜の時間に、誰もが健康や医療の相談ができる体制が必要ではないか。医療関係者に直接、気になる体の症状、治療中の病気や薬のこと、育児のことなどを気軽に相談できる二十四時間対応の電話相談を行うのはどうか。

市 時間外の相談体制の整備が課題であるが、保健センターでの相談や、小児救急医療電話相談を午前0時まで実施しているため、現在のところ、二十四時間健康・医療電話相談の導入は考えていないが、今後、既に導入している近隣市の状況等も参考に研究していく。

# 決算報告

## 決算特別委員会で集中審査

賛成多数で平成二十六年年度決算を認定

決算特別委員会は、一般会計・特別会計・財産区会計の各決算について九月二十八日から三日間にわたり審査を行いました。

各委員からは予算執行に対する市の姿勢や各事業の成果など多岐にわたる質疑が行われました。

委員会での討論では、あしや真政会、公明党、維新の党、薫る風が全会計への賛成討論を行い、日本共産党が一般会計等三会計に、反対の討論を行いました。

討論ののち、  
 表決の結果、  
 賛成多数で認  
 定すべきもの  
 と決しました。  
 十月七日の  
 本会議では松  
 木決算特別委  
 員長が委員長  
 報告を行い、  
 賛成多数で認  
 定されました。



決算審査に臨む委員

### 公明党

3年連続市税収入が増加、市債残高は484億円まで減少したが、引き続き慎重な財政運営が必要である。一方で市営住宅等大規模集約事業でのPFI手法の導入、阪急芦屋川駅のバリアフリー化、アンダーパスへの冠水表示板の設置、高齢者肺炎球菌ワクチン助成、阪神芦屋駅の図書返却ボックス設置等を評価する。

### 維新の党

事業の取捨選択が必要で難しい経営判断が迫られる中、一定の財政指数を維持し、市債の繰上償還を継続していることに一定の評価をする。次年度も難しい局面が続くが、未来にツケを残さないためにも、公債費負担の軽減に向けた取り組みの継続を含む、人口減少社会を見据えた財政運営を求める。

### 決算特別委員会の委員は下記のとおり

委員長	松木 義昭	(あしや真政会)
副委員長	帰山 和也	(公明党)
委員	長野 良三	(あしや真政会)
	大原 裕貴	(維新の党)
	中島 かつお	(薫る風)
	重村 啓二郎	(あしや真政会)
	平野 貞雄	(日本共産党)

## 決算へ会派から一言!

### あしや真政会

1千億円を超えていた市債残高が500億円を切った。財政状況も厳しいとはいえ、以前よりは改善している。この決算から言えることは、さらに収入を増やしつつ、これまで慎重だった教育や福祉への配分を増やし、市民がより安心して暮らせる施策を推進することだと考える。来年度の予算編成への反映を期待する。

### 日本共産党

求めてきた中学校給食経費など市民要求の反映も一定あるが、約40億円の市債繰上償還を行い、なお5億円近い黒字を出す財政力が市民生活に十分生かされず市民負担は増えている。浜風幼稚園廃園や営利企業の公的保育参入、市営住宅集約事業へのPFI手法の導入は公的責任後退と行政力の低下を招き問題である。

### 薫る風

26年度決算では、市債残高が約484億円に減少しているが、自治体の財政健全化をはかる指標の一つである将来負担比率が、前年度に比べ悪化している。また、基金残高も2年で約70億円以上減少している。今後の政策の多角的検証を通して、市民に説明責任をきっちり果たせる財政運営をされるよう期待したい。

芦屋浜・南芦屋浜  
 まちづくり調査特別  
 委員会を設置

左記の事項について、十分な調査を行うため、「芦屋浜・南芦屋浜まちづくり調査特別委員会」を設置しました。

#### 《調査事項》

- ① 高浜町一番住宅等大規模集約事業及び当該地を利用して行われる福祉施設建設事業に関すること。
- ② 芦屋浜・南芦屋浜におけるごみ処理問題に関すること。
- ③ 南芦屋浜教育施設用地の活用に関すること。
- ④ 芦屋浜・南芦屋浜の生活利便施設に関すること。

#### 《委員》

徳田 直彦	委員長
森 しずか	副委員長
岩岡りょうすけ	委員
福井 利道	委員
寺前 尊文	委員
山田みち子	委員
松木 義昭	委員

民生文教常任委員会が  
潮見中学校給食棟を視察

民生文教常任委員会は八月十九日に委員七名、委員外議員十二名の計十九名で、七月に建て替えられた潮見中学校給食・特別教室棟の現地視察を行い、教育委員会から施設の概要、設備等について説明を受けました。

中学校での給食は、市内では潮見中学校が初めての試みであり、本年十月から実施されています。今後、山中中学校、精進中学校での給食実施に向けて、潮見中学校の実施状況等を十分に調査していく必要があります。



編集後記

市民の皆さまに開かれた議会を目指し、九十四号の発行となりました。お寄せいただいた意見や感想を拝見しますと議員がどうあるべきかということをひしひしと感じます。これからも皆さま

の声を生かし、分かりやすい紙面を心がけながら情報発信に努めて参ります。今後も興味、関心を寄せいただきませう、よろしくお願いたします。

(編集委員  
中島 かおり)

九月定例会でも正副議長を除き、議員全員が一般質問を行いました。一般質問のテーマは、事前に公表されていますので、是非傍聴にお越しください。今議会では、決算特別委員会が開かれ、昨年

度の予算の使われ方が審査されました。市民の皆さまに議会をより知っていただけるよう、市議会だまりの紙面づくりに努めてまいります。

(編集委員  
ひろせ久美子)

議

会

ク

イ

ズ

「議会のナゼ?なに?再発見!」

前回のクイズ「芦屋市議会には、現在何人の女性議員がいるでしょうか?」の正解は、「① 六人」でした。

第十二問 この九月定例会中に設置された特別委員会は、次のうちどれでしょうか?

- ① 芦屋浜・南芦屋浜まちづくり調査特別委員会
- ② 予算特別委員会
- ③ 議会改革特別委員会

正解者の中から抽選で三名の方に図書カード(五百円分)を差し上げます。はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・解答・感想をお書きの上、芦屋市議会事務局までお送りください。締め切りは十一月二十日当日消印有効です。正解は、二月発行予定の市議会だより九十五号で発表します。

(個人情報や賞品の発送以外には使用しません。)

当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

議会報告会へ出かけよう!

市議会では、昨年に引き続き、議会の仕組みや活動を市民の皆さまにより知っていただくために、下記の日程で議会報告会を開催します。内容は、「議会のあらまし」「平成26年度決算の報告」についてなどです。

多数のご参加をお待ちしています。  
※内容は各回とも同じです。事前の申し込みは必要ありません。

～ 日程 ～

- ① 10月31日(土) 午後2時30分～午後4時  
潮芦屋交流センター 201室(海洋町7-1)
- ② 10月31日(土) 午後6時30分～午後8時  
大原集会所 B室(大原町20-2)
- ③ 11月 1日(日) 午前11時～午後0時30分  
福祉センター 会議室1(呉川町14-9)

12月定例会日程(予定)

芦屋市議会では、本会議・常任委員会・特別委員会・議会運営委員会を傍聴することができます。ぜひ一度お越しください。また、本会議はインターネットで生中継もしています。

月	火	水	木	金	土	日
11/23	24	25	26	27	28	29
	議会運営委員会	本会議、総務常任委員会		議会運営委員会		
30	12/1	2	3	4	5	6
本会議(提案説明等)	建設公営企業常任委員会	民生文教常任委員会	総務常任委員会			
7	8	9	10	11	12	13
議会運営委員会	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問等)			
14	15	16	17	18	19	20
			議会運営委員会	本会議(表決)		

○本会議・委員会の開始は、原則午前10時からです。  
○日程は変更になる場合がありますので、傍聴を希望される方は事前に時間をお確かめの上、本会議は市役所南館4階傍聴受付、委員会は市役所南館3階市議会事務局までお越しください。